	施策	内容	目標内容	集計期間	当初 (R元時点)	目標 (R6末時点)	実績 (R4末時点)	達成率	評価
目標1	目標1 安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする		農林業新規就業者数	累計	0人	10人	5人	50.0%	2
	(1)ヒメノモチ・農作物加工場の新設。	特産品であるヒメノモチの生産量・加工量増加に向け、新たなヒメノモチ加工場やその他の農作物加工場を整備し、作物の生産だけではなく、村内で生産から加工・販売を行い、農業者等の所得向上と地域の活性化を目指す。							
	②農業生産物の高付加価値化の推進	6次産業化により、マーケットの要請や消費者ニーズを捉え、特産である源流農作物等を原料に付加価値の高い加工品の開発をさらに進めるとともに、中心となって6次産業化をけん引する人材の育成を図る。		年間	32千万円	35千万円	36千万円	102.9%	5
	③力強い担い手の育成	儲かる(稼げる)農業及び遊休農地・耕作放棄地の減少を目指して、経営規模拡大に向けた農地の集積・集約や企業等の農業参入に向けた支援を行う。また、アグリサポートセンターの機能強化と担い手を中心とした営農団体を設立し、担い手の育成を進めていく。							
	1(4)林業沽性化.	村の基幹産業である林業の活性化及び木質エネルギーの地産地消を目的として、村内の豊富な森林資源を活用した木質バイオマスによる発電と熱を利用した温浴施設等を整備することで地域経済の活性化を図る。		年間	14千m^3	19千m^3	11 <b>千</b> m^3	57.9%	2

	施策	内容	目標内容	集計期間	当初 (R元時点)	目標 (R6末時点)	実績 (R4末時点)	達成率	評価
目標 2	新しいひとの流れをつくる		人口の社会増	累計	0人	15人	-29人	-193.3%	1
		都市部にはない美しく豊かな自然や出雲街道の宿場町で あった村の歴史・文化といった、本村の魅力ある地域資源を 活かし誘客を促進し交流・関係人口の増加を図る。							
	⑥がいせん桜通りの魅力向上	グランドデザインで示される整備方針や賑わい創出などに取り組むことで、通り周辺エリアの魅力度を向上させ、出雲街道新庄宿の活性化を図る。 また、新たな宿泊施設や店舗などを整備することで、収益性の向上による関連施設の経営安定化を図るとともに、アルベルゴ・ディフーゾ(分散型ホテル)として魅力を高め、地域経済を活性化し村内への経済循環を図る。		年間	93千人	100千人	90千人	90.0%	4
	⑦真庭観光局との連携	交流人口の増加を目指す上で、真庭地域との連携は欠かせないものとなっている。現在、真庭観光局と連携し、誘客を促進しているが、引き続き協力関係を維持・発展させ、効果的なプロモーションを行うことで真庭地域全体の活性化を図る。							
	⑧新しい働き方の検討	起業を志望する人や、都市圏と地方で生活を送る「デュアラー」、自らの興味と技術で複数の仕事を掛け持つ「ポートフォリオワーカー」をターゲットに新庄村での暮らしを発信し、村内での起業や週末生活者など自ら稼げる人材を創造し、地域の活性化を進める。	村内で起業した人数	累計	0人	5人	4人	80.0%	4

	施策	内容	目標内容	集計期間	当初 (R元時点)	目標 (R6末時点)	実績 (R4末時点)	達成率	評価
	1(9)空き家を活用した起業の促進	若い世代を中心とした村内での起業を促進するため、空き家を店舗へと改修してリーズナブルな価格設定で貸し出すことで、導入にかかるイニシャルコストを低減し、安心して起業や出店ができる環境を整備する。							
目標3	若い世代の結婚・出産・子育ての	・ 希望をかなえる 	今後もこの地域で子育てをし ていきたいと思う割合	年間	54.5%	60.0%	75.0%	125.0%	5
	⑩テレワーク事業の推進	企業のバックオフィスなどの一部移転を働きかけ、既に村内で登録しているテレワーカーの雇用と結びつけることで村内経済への波及と子育て中のお母さんでも働きやすい環境の整備を目指す。		累計	0社	1社	2社	200.0%	5
	①移住促進住宅の整備	移住施策を進めるうえでの足かせとなっている住宅不足を 解消するため住宅の整備を促進する。	整備した住宅の数	累計	0戸	5戸	4戸	80.0%	4
		小中学校の施設が一体型となっている点を有効に活用した 職員室の一本化や、「地域の学校」として空き教室の有効利 用、保育所を含めた給食を提供する学校給食センターの施設 整備を進めることで、質の高い教育の提供や効率的な組織体 制を実現する。	_	_	_	_	_	_	_

	施策	内容	目標内容	集計期間	当初 (R元時点)	目標 (R6末時点)	実績 (R4末時点)	達成率	評価
目標4	時代に合った地域をつくり、安心7	なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	暮らしやすい村と思う割合	年間	37.0%	40.0%	50.0%	125.0%	5
	③健康寿命の延伸と介護予防の充実	日常生活において、村民が継続的に健康管理や健康づくりの推進に取り組むことができるよう、健康増進施設の整備や健康情報の提供を推進する。また、特定健診や特定保健指導等を通じて生活習慣病の予防を図る。	    特定健診受診率(国保)	年間	62.5%	67.0%	30.2%	45.1%	2
	⑭高齢者住宅の整備	高齢者本人が安心して暮らせるようにするとともに、離れて暮らす家族の負担を軽減するため、高齢者住宅の整備を検討する。		累計	0戸	4戸	0戸	0.0%	1
		地域住民の交流や憩いの場として、空き家を活用した子どもから高齢者まで気軽に訪れることができる図書室などを整備しする。また、学校図書館や公民館図書室ともネットワーク化することにより、村民が自由に村内の図書を利用できるようにする。	整備した憩いの場の数	累計	0箇所	1箇所	0箇所	0.0%	1
	⑥地域内交通網の充実	真庭市から乗り入れているコミュニティバス「まにわくん」や村内を巡回する「しんじょうくん」といった既存の公共交通サービスを活かしながら、地域住民による送迎サービスの導入など、その他の移動手段について検討する。	増加した移動手段の数	累計	0	1	0	0.0%	1